

一般質問(要旨)



議員 本澤 徹
いばらき自民党
いばらき市選出
一括方式

「公立小・中学校の統廃合」のあり方

議員 公立小・中学校の統廃合に当たっては、保護者の教育観を優先した「学校の選択制」を導入し、新築校舎による統廃合を改め、既存の校舎を活用した、長期的で柔軟な対応が必要であると考えるが、所見は。

教育長 今後、統廃合を行った学校や市町村を対象とした統廃合に関する実態調査の結果を詳細に分析・検証し、本県における統廃合に関する考え方や支援のあり方などについて検討する。



議員 岡田 拓也
いばらき自民党
いばらき市選出
一括方式

地域の伝統文化の継承・保存

議員 少子高齢化などにより、地域に根ざした祭りやお囃子などの伝統文化の継承・保存が難しくなっているが、今後、どのように取り組んでいくのか。

生活環境部長 祭りや年中行事などの伝統文化の映像や音声などの情報を、市町村や伝統文化の保存団体から広く収集し整理する取り組みを進めている。今後、継承が中断しても復活できるように、お囃子を楽譜として残すなど、新たな保存方法についても検討したい。

涸沼湖岸堤の遊歩道整備

議員 涸沼の来訪客などが安心して散策し、その自然を満喫できるように、湖岸堤の遊歩道整備が不可欠であると考えているが、今後の整備予定は。

土木部長 涸沼の北側および南側の一部については、既に遊歩道などを整備している。整備が残る区間についても、周辺の茨城町、大洗町および鉾田市の意見や要望を聞きながら、今後、整備を検討する。

(ほかに、主食用米から飼料用米への転換、鹿行北部地区の救急医療体制の充実なども質問)



楽しそうに通学する小学生

結婚支援事業における変わりゆく結婚観への対応

議員 変わりゆく若者の結婚観にどのように対応し、結婚支援に取り組んでいくのか。

保健福祉部長 結婚に消極的な意見もある中、「結婚・子育てポイントキャンペーン」を実施し、結婚を前向きなものとして捉えてもらうよう取り組むとともに、若い世代に対するフェイスブックやツイッターなどを通じた効果的な情報発信についても検討していく。

(ほかに、災害ボランティアの支援、援体制の強化、次世代エネルギーの可能性なども質問)



一時中断し、その後復活した高萩市の「丹生(たんしょう)神社の棒ささら」



議員 二川 英俊
民 主 党
ひたちなか市選出
一括方式

ひたちなか地区の今後の開発

議員 ひたちなか地区の開発について、国有地などは土地利用が進んでいない状況である。留保地利用計画の策定から約十年が経過しようとする中で、今後、どう開発を進めていくのか。

知事 今後、地元の皆さまや有識者による留保地活用検討会議を立ち上げ、地元住民を含めたより多くの関係者が共有できる留保地活用の方向性をできるだけ早期にまとめ、ひたちなか地区のさらなる発展に向け、鋭意取り組む。

政治参加に関する教育の推進

議員 選挙権年齢が十八歳に引き下げられたが、今後、学校において生徒の政治参加に関する教育をどのように推進するのか。

教育長 高校生向けの副教材などを活用した学習のほか、模擬投票・模擬議会の実施や、実際に議会を傍聴する取り組みなどを、各学校に対して積極的に促し、できるだけ実践的かつ体験的な活動を取り入れながら、生徒の政治参加への意識を高めていく。

(ほかに、少人数教育の充実、地域医療の人材確保なども質問)



さらなる発展が期待されるひたちなか地区



議員 石井 邦一
いばらき自民党
いばらき市選出
常陸太田市選出
一括方式

河川事業の予算の確保

議員 台風十八号などによる鬼怒川の堤防の決壊をはじめ、近年の気候変動などにより、各地で洪水被害が多発している。洪水から県民を守る河川事業について、どのように予算を確保していくのか。

知事 国の直轄事業や、県の河川事業の七割を占める国の補助による事業の予算については、中央要望などを通じて、市町村と連携し、国などに対する働きかけを強める。また、県単公共事業費についても、今後のあり方を積極的に検討する。

木造建築供給の担い手支援

議員 県産木材の利用拡大のため、木造住宅の建設に携わっている工務店などに対し、どのように支援していくのか。

土木部長 技術力・競争力強化のため、省エネ技術や県産木材活用に関する講習会を開催するほか、消費者に向けた木造住宅のパネル展示会などを行う。また、県営住宅の木造化については関係団体と連携し、検討・調査を進めていく。

(ほかに、人口ビジョン・総合戦略の策定、県有林などへのネーミングライツの導入なども質問)



関東・東北豪雨の影響による洪水の様子(常総市)

茨城県議会改革推進会議が開催されました

第一回茨城県議会改革推進会議(田山東湖座長)が八月三日に開催され、全会派から選出された十一名の委員およびオブザーバーとして細谷典幸議長と山岡恒夫副議長が出席しました。会議では、今後のスケジュールや議会改革に関して今後検討していくべきテーマなどについて座長案が提示され、決定・了承されました。また、参考人として出席された常磐大学准教授の吉田勉氏より、近年問題となっている公務活動費制度の概要とあり方についてのご説明をいただいた後、委員と活発な意見交換が行われました。

九月四日には、第二回会議が開催され、前回の会議で了承された議会改革に関する検討テーマについて、委員より項目の追加提案があり、今後の検討課題とすることになりました。また、参考人として出席された元全国都道府県議長会議事調査部長の野村稔氏より、常任委員会の活性化、議会事務局の情報調査部門の充実などの議会改革に向けた取り組みについてご説明をいただきました。

